

夏のエコライフチャレンジ取組み結果

平成21年11月
環境政策課管理係

1 市民モニター募集・実施内容

平成21年6月に、家庭における使用エネルギーの削減効果を実証するため、市民モニター「エコライフチャレンジファミリー」を募集しました。

モニターに参加した世帯では、電気や燃料などの使用量を入力するだけで簡単に二酸化炭素排出量を計算してくれる計算機「CO2カルク」を使いながら、節電や省エネにチャレンジしました。

2 参加世帯

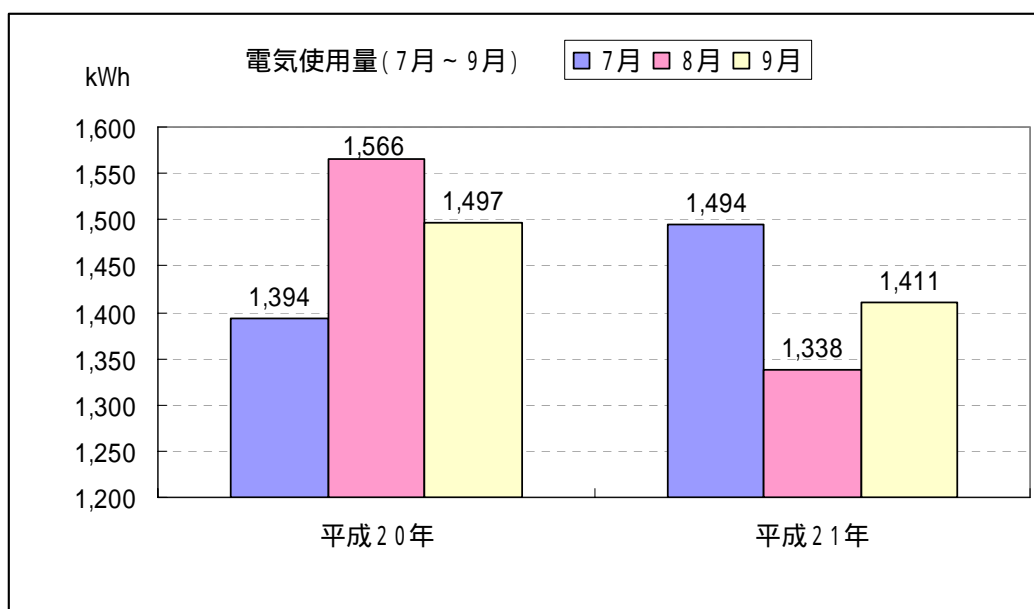
5世帯がモニターに応募しました。その内、4世帯から報告がありました。

3 夏のエコライフチャレンジ結果

この夏は、7月から9月まで3か月分の電気使用量と、家庭における省エネ活動について報告していただきました。

(1) 電気使用量

モニター全世帯の電気使用量の合計を、昨年と今年で比べてみました。



7月はチャレンジを開始したばかりであるためか増加傾向にありましたが、8月から9月にかけての省エネ活動の効果により、3か月合計の電気使用量は昨年同時期と比べて214キロワット、4.8%削減されました。CO2カルクで二酸化炭素排出量を計算すると、約78.8kgにあたります。

(2) 省エネ活動内容

モニター世帯から報告された実践方法を紹介します。

冷房・クーラー	温度設定を低くしない(25度、28度) 耐えられない暑さのときだけ、時間を決めて使う こまめに消電する シーリングファンで空気を循環させる 機器を清掃する
照明	電球形蛍光灯に付け替える 夜更かししない、早く寝る 使用しない部屋の電気を消す
節電	待機電力をなるべく消す 炊飯器は2日分まとめて炊いて冷凍庫と電子レンジを使用 冷蔵庫は詰めすぎず、開ける回数を減らす
ガス	洗い物のすすぎをお湯から水に替える
節水	シャワーを浴びる時間を少なくする 雨水を溜めて花に水遣りをする
日陰	グリーンカーテンを作る ベランダによしずを立てかける

(3) 御意見・感想

CO₂削減の為に始めの意気込みはあったのですが、あまり効果(結果)は今一でした。これからも常にエコを考えながら無理をしない程度に挑戦しようと思います。次回はエコライフチャレンジャーが多いといいですね。

昨年と比較して3カ月減を達成できましたが、家族構成が1人減のためか、努力の成果なのか、はっきりしません。子どもの年齢が上がるにつれて家にいる時間が短くなるのでその影響もあるかもしれません。今回の調査は電気使用料のみでしたが、CO₂カルクによるガソリン使用料のCO₂換算値が大きくて驚いたので、こちらについても減らしていけるよう努力を続けたいと思います。真夏の電気使用量が問題になり企画されたのだと思いますが、我が家のピークは1月～2月です。この時期の省エネ対策に良いアイデアがあれば教えてください。

電気代を節約する事は大事ですが、本当にCO₂排出量を減らす事を考えないとエコにはなりません。環境とは地球全体で考えるものであるため、オール電化住宅にしたからといっても、以前より電気使用料が増加されるとC

CO₂の排出量が増えてしまうのです。オール電化にしてプランによって電気代が安くなるのは別の話です。大事なのは、CO₂排出量を減らすエネルギーの使い方です。電気、ガス、石油と本気でCO₂排出量を減らす為のベストミックスなエネルギーの使い方を広報して欲しいと思います。地球をエコにするのであれば、コストアップしてしまう事もあるかもしれません。家計にやさしいのと地球のエコは、かならずしも一致しないという事です。

4 最後に

今回のエコチャレンジは応募世帯数が少なかったのですが、環境に対する意識の高い皆さんに参加していただきました。この報告をきっかけに、多くの方に家族みんなで参加できるエコ活動に興味を持っていただければと思います。

御協力いただいたモニターの皆様、ありがとうございました。